



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和6年度学校だよりNo.19
令和7年3月3日(月)

今を変えれば未来が変わる



出前授業その2

2月26日(水)、27日(木)の2日間、2年生を対象に、「蒙日音楽ユニット竹馬」所属の〇〇〇〇さんをお招きして馬頭琴演奏の出前授業を行いました。授業ではまず、モンゴルという国についての詳しい説明がありました。国旗、民族、文字、服装、住居、食事などについて説明を受け、それから「モンゴルの白い馬」(国語で学習している『スーホの白い馬』の原作)を馬頭琴の演奏に合わせて範読していただきました。

児童にとって、あまり馴染みのなかったモンゴルや馬頭琴について知ることができたと同時に、「モンゴルの白い馬」で描かれている主人公の心情についても気付くことができたのではないかと思います。

前回の学校だよりでも触れましたが、出前授業を楽しみにしている児童がたくさんおります。また我々教職員にとっても貴重な研修の機会になっておりますので、ご提案やご推薦などがありましたらぜひ学校までご連絡ください。

前小6年ジャー



2月25日(火)に実施した「6年生を送る会」の中で突然「前小5年ジャー」が登場しました。卒業する「前小6年ジャー」から前渡小の伝統を引き継ぎ、困っている友達や下級生を助けたり、安全安心な学校づくりにあたってくれたりするそうです。

送る会終了後に「前小5年ジャー」のメンバーに、来年度の入学式にも登場してもらいたいというお願いをしたところ、快く引き受けてくれました。これからの約1年間、前渡小学校の平和と安全をよろしく願います。



追分バス停



正門前の追分バス停が新しいものになっていました。バス通学の児童だけではなく、地域の方にも見やすく分かりやすいものになりました。

学校前のバス停のほとんどは「〇〇小学校前」「〇〇中学校前」という名前が多い中、前渡小学校前のバス停は「追分」という地名のままです。「追分」には街道が分岐する場所という意味がありますが、歴史や地域の良さを感じる素敵な名前のバス停だと思います。

